

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 215-0004
 住 所 神奈川県川崎市麻生区万福寺3丁目1番2号
 氏 名 小田急商事株式会社
 代表取締役社長 藤波 教信

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	小田急商事株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 麻生区万福寺3丁目1番2号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	スーパーマーケット(食料品および衣料・雑貨商品の販売)		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,617	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取組については、ホームページにて公表しております。 http://www.odakyu-ox.net/eco/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

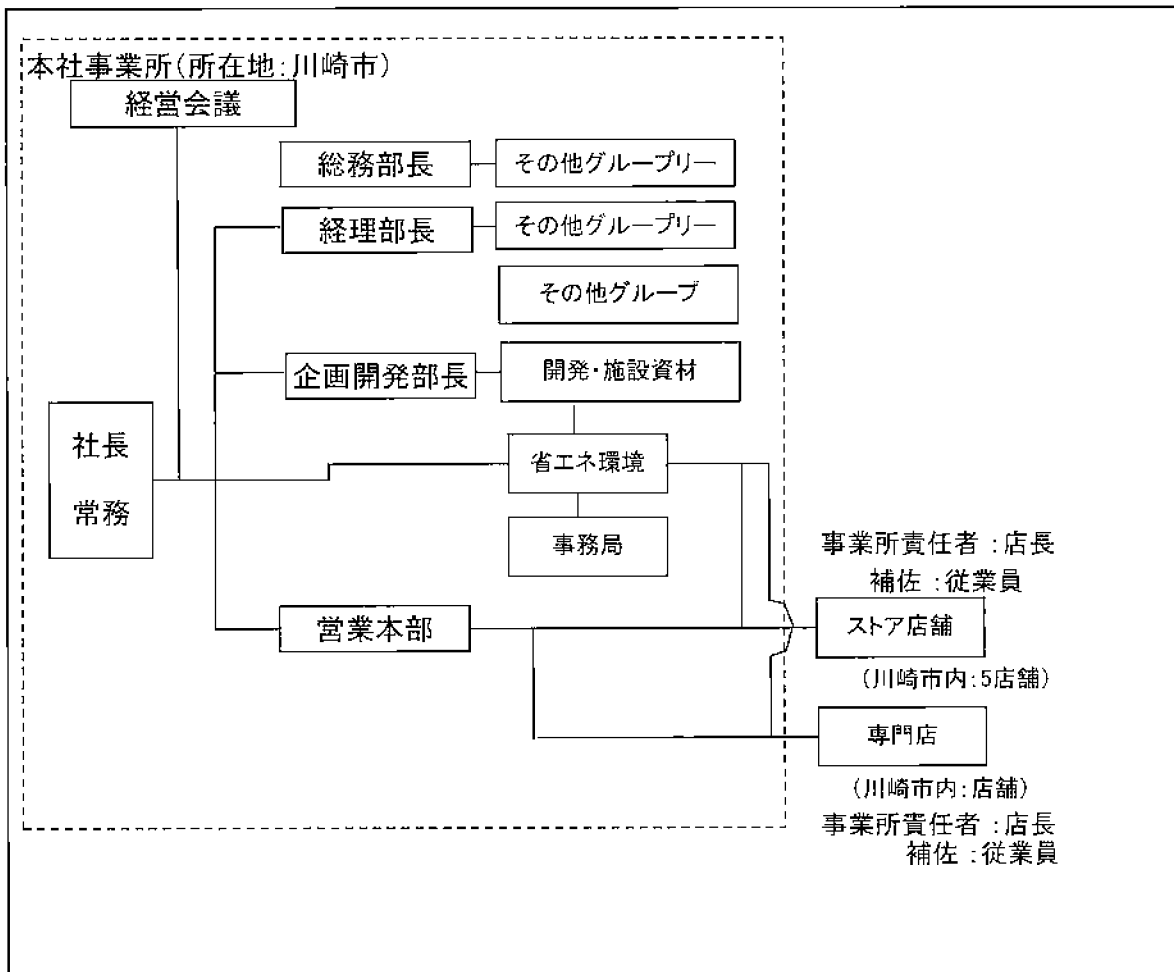
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- 1) 地球温暖化対策に関する対応を全社で協議し継続的に推進する。
- 2) 目標を具体的に設定し温室効果ガスの排出量の削減を図る。
- 3) 省エネ対策もあわせて取り組むと共に各事業においては事業者内容をおよび地球環境を考慮しそれぞれの方針と目標を決めて活動する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

- 1) 事業者全体の基本方針に沿って施策を順次実施する。
- 2) 目標設定に関し再生可能エネルギー原の導入と省エネ効果の高い機器採用を取り込む。
- 3) ストア部門と専門店別の会議時にエネルギー削減と環境改善の提案を抽出し実施可能な設備投資を計画を立案し次年度予算計上ならび中長期計画を組み推進する。
- 4) 上記対策実施後、エネルギー使用の統計をして原単位の削減状況を検証する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基 準 年 度		2018				年度
目 標 年 度		2021				年度
基 準 排 出 量	(実)	3,042		(実)		
	(調)	2,960	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目 標 排 出 量	(実)	2,951		(実)		
	(調)	2,871	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削 減 量	(実)	91	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	91 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削 減 率	(実)	3.0	%	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量					
原 単 位 の 単 位					
基 準 年 度 の 値					
目 標 年 度 の 値					
削 減 率			%		%

ウ 目標設定に関する説明

当社では販売のみならずお客様が購入・消費・廃棄されるまでの経緯を見据えた環境対応に努めるという「環境理念」を掲げており数値目標としては、エネルギー起源二酸化炭素の排出ベースで対前年度1%以上の削減を設定し効率的なエネルギーの使用、省エネ機器の導入を順次実施しPDCAサイクルにより削減目標の管理および達成に取り組めます。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

上記にも記載してありますが川崎市内および全社的に前年度対比1%以上の削減を目標としています。また環境対策としてレジ袋の有料化・ペットボトルキャップの回収による焼却しないCO2の削減を図る。

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第1から6等を参考に記載してください。）

計 画	1) ストア店舗において売場ならびバックヤードの天井照明器具LED器具に順次更新工事を実施する。 2) 冷ケース用冷凍機の冷媒フロンガスの新冷媒機器の採用と高効率圧縮機器の導入を進める。 3) 電気の見える化導入を計画し今後の省エネ対策のデータをとる。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 （第3年度の報告時に記載）	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

店舗照明器具のLED化更新工事は中期計画に則り順次進めております。

--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()	×	
その他()	×	

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	×
EV、PHV、FCV	×	その他()	×

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特になし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<p>1) レジ袋無料配布の廃止 ストア業全店においてレジ袋辞退のお客様に代金2円引きを実施する。 2) プラスチック製品の回収 ペットボトルキャップ・トレイ皿・牛乳パック等を回収実施する。</p>
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	3,042	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

1,617	KL
-------	----

ウ 事業所の数

20

(2) 事業所等单位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂